

令和5年度 安中市青少年健全育成 市民のつどい

と き 令和5年11月18日(土)

ところ 安中市文化センター ホール

次 第

◇式 典◇ 午後2時～

あ い さ つ 安中市教育委員会 教育長 竹内 徹

優良青少年表彰 原市LKツインズ【団体】

原市イースト【団体】

LEONI SPORTS GROUP【団体】

来 賓 祝 辞 安中市長 岩井 均 様

安中市議会議長 壘 次 雄 様

決 意 表 明 安中市青少年健全育成会議 会長 村井田 佳子

◇記念公演◇ 午後2時30分～午後4時30分

ミュージカル 「白雪姫」

主 催 安中市教育委員会・安中市青少年健全育成会議

共 催 安中市青少年育成推進員連絡協議会・安中市PTA連合会・

安中市子ども会育成連合会



安中市のマスコット
キャラクター
「こうめちゃん」

決意文

次代を担う青少年が健やかに成長し、社会の一員としての使命と役割をもって自立することは私達すべての願いであり、その成長と自立を支える地域づくりは私達の務めである。

今日、豊かな経済生活、便利な社会の進展とともに、地域において自然・社会体験を通して身に付けてきた「生きる力」を育む機会が少なくなっている。また、少子高齢社会の影響や多様で激変する生活環境の中で、同世代との遊びや交流する機会の減少により、人間関係づくりがうまくできない青少年が増えている。

私達は、この「つどい」を契機として青少年の健やかな成長と社会的な自立を支えるため、家庭・学校・地域社会が果たしている役割を再認識し、連携しながら青少年健全育成に取り組み、本市が心の絆で繋がる活力に満ちた郷土となるよう努力することをここに決意する。

令和5年11月18日

安中市青少年健全育成会議

家庭・学校・地域社会が一体となって

青少年が心身ともに健康で、意欲的に活動できるよう、家庭・学校・地域社会が密接な連携を図り、一体となって「青少年健全育成運動」を推進しましょう。

群馬県では昭和40年度から毎月第1日曜日を「家庭の日」と定め青少年健全育成のための県民運動を推進しています。また、青少年自身が自らの行動に責任を持つとともに、社会の一員としての自覚を深める日として、昭和58年度から毎月第1土曜日を「少年の日」と定め「家庭の日」と連動した県民運動を展開しています。楽しく親子で話したり活動しながら子どもの自立を促すきっかけの日にししましょう。

ルールを作って みんなで守ろう

おぜのかみさま



写真を**お**くらない

人に見られて困る
写真は送らない。

ぜったいあわない

インターネットで知り合った人とは絶対に会わない。

個人情報を**の**せない

名前、住所、学校名等の個人情報は載せない。

悪口等を**か**きこまない

悪口や人を困らせるようなことを書きこまない。

有害サイトを**み**ない

フィルタリングをかけて有害サイトを見ない。

出会いを**さ**がさない

インターネットで出会いを探さない。

ルールを**ま**もる

遊ぶ時間や料金など、家の人と決めたルールを守ってね!

青少年健全育成市民のつどい

名作ミュージカル・クリスマス童話より

白雪姫

演出／源 紀 脚本／北 麦生

自然を愛し、平和を願う美しい心を伝える物語



●音楽
塩谷翔

●振付
相羽源氏

●衣装
山田いずみ

●美術
園良昭

●照明
立川直也

●音響
木谷晶代

●舞台監督
安田秀章

青少年健全育成市民のつどい

令和5年 11月18日(土)

開会 午後2時～(開場は午後1時30分～)

安中市文化センターホール

入場無料 入場整理券が必要です

※10月16日(月)より安中市文化センター・松井田文化会館・公民館・生涯学習センターにて配布いたします。

お問合せ 安中市教育委員会生涯学習課
☎027-382-1111 (内線 2242)

主催 安中市青少年健全育成会議
安中市教育委員会

名作ミュージカル (グリム童話より)

白雪姫

かいせつ

演出/源 紀 脚本/北 麦生



白雪姫の登場人物のお妃様は自分の美しさや、地位、欲のために戦争をおこし、白雪姫を殺そうとします。お妃から逃げた白雪姫は、森にある幸せの小人の国で7人の小人と出会いました。外の世界を知らない白雪姫は、小人達に働くことや自然の素晴らしさ、人々が助け合って生きて行く事の素晴らしさを学び、成長していく過程を描いています。

この作品を通して、現代社会で忘れられがちな「愛と思いやり」の大切さをもう一度確認していただけたらと願っております。

ミュージカル「白雪姫」が、子どもから大人までたくさんの人の感動を誘い、平和な世の中になることを願い、新しい時代への懸け橋になればと思っています。ぜひ、劇団東少が贈る本格的創作ファミリーミュージカル「白雪姫」をご観劇していただきたいと思います。

あらすじ

この作品「白雪姫」の魅力は、白雪姫のやさしさや美しい心です。

妃は、世界で一番美しい者は自分だけだと信じ、「白雪姫」の継母でありながら、娘である白雪姫の美しさに嫉妬し、狩人に命じ白雪姫を殺そうとします。王様も亡き者にして、この国を支配しようとする魔女のようなお妃。でも狩人は、白雪姫を殺すことができず、白雪姫を逃します。「七つの山を越えて真っ直ぐに」と狩人に言われ、白雪姫は言われた通り真っ直ぐに行き、やっとの思いでたどり着いた所は森のなかにある働き者の小人の国でした。そして白雪姫と小人達の生活が始まります。そこで姫は、働くことの喜びや、自然の美しさを知り、小人達にいろいろなことを教えてもらい、楽しい日々を過ごしました。その頃、お妃は、不思議な鏡の前で世界で一番美しいのは誰かと問いかけると、鏡は「白雪姫が生きている」と答えます。そこでお妃は毒リングを使って自分の手で白雪姫を殺してしまいます。小人達が悲しんでいるところへ、オリーブの国の王子が一足遅く助けに現れます。そこにお妃が現れ壮絶な戦いをくりひろげます。王子様はお妃を倒し、不思議な鏡も割れ、森に平和が訪れます。王子様は白雪姫にお別れのキスをすると奇跡がおこり、白雪姫は目を覚まします。王子様は、白雪姫に「城へ帰りましょう」といいますが、小人達の居てほしいという心を感じ取り、成長した白雪姫は王子様に「私は小人さん達から働くことの喜びや、自然の美しさを知り、小人さん達に色々なことを教えてもらいました。そして人を思いやることも知りました。もう少しの間勉強して王子様の所へ帰ります」と話しました。その言葉に王子は感動し「わかりました、その時には平和な国を一緒に作りましょう」と語り、感動的な幕となります。

劇団東少紹介

劇団東少は、1949年創立以来公演活動を続けて半世紀を越えた歴史ある児童演劇の専門劇団です。公演地は全国的であり、北は北海道から南は九州沖縄までと幅広く、公演日数も年間100日を超え20万人以上の動員をしています。特に東京公演では、'80年からスタートした東京日本橋の三越劇場での夏・冬のファミリー劇場は、定期公演になり、一般公演の少ない児童演劇界でユニークな存在として現在もその成果を実らせています。又、出演者は数百名のオーディションの中から選ばれた、演技・ダンス・歌に実力のある俳優とベテラン俳優が参加し、大人も子どもも感動できる作品を公演しています。

劇団東少のレパートリーは、心の優しさをメルヘンタッチに描き、現代に通じる愛を芝居・歌・踊りで構成し、涙と笑いと感動を与えられる本格的な創作ファミリーミュージカルとして好評を博しております。

《受賞のかずかず…》

- ◆厚生省児童福祉文化賞
- ◆東京都児童劇団優秀賞
- ◆読売児童演劇賞
- ◆日本児童演劇脚本賞